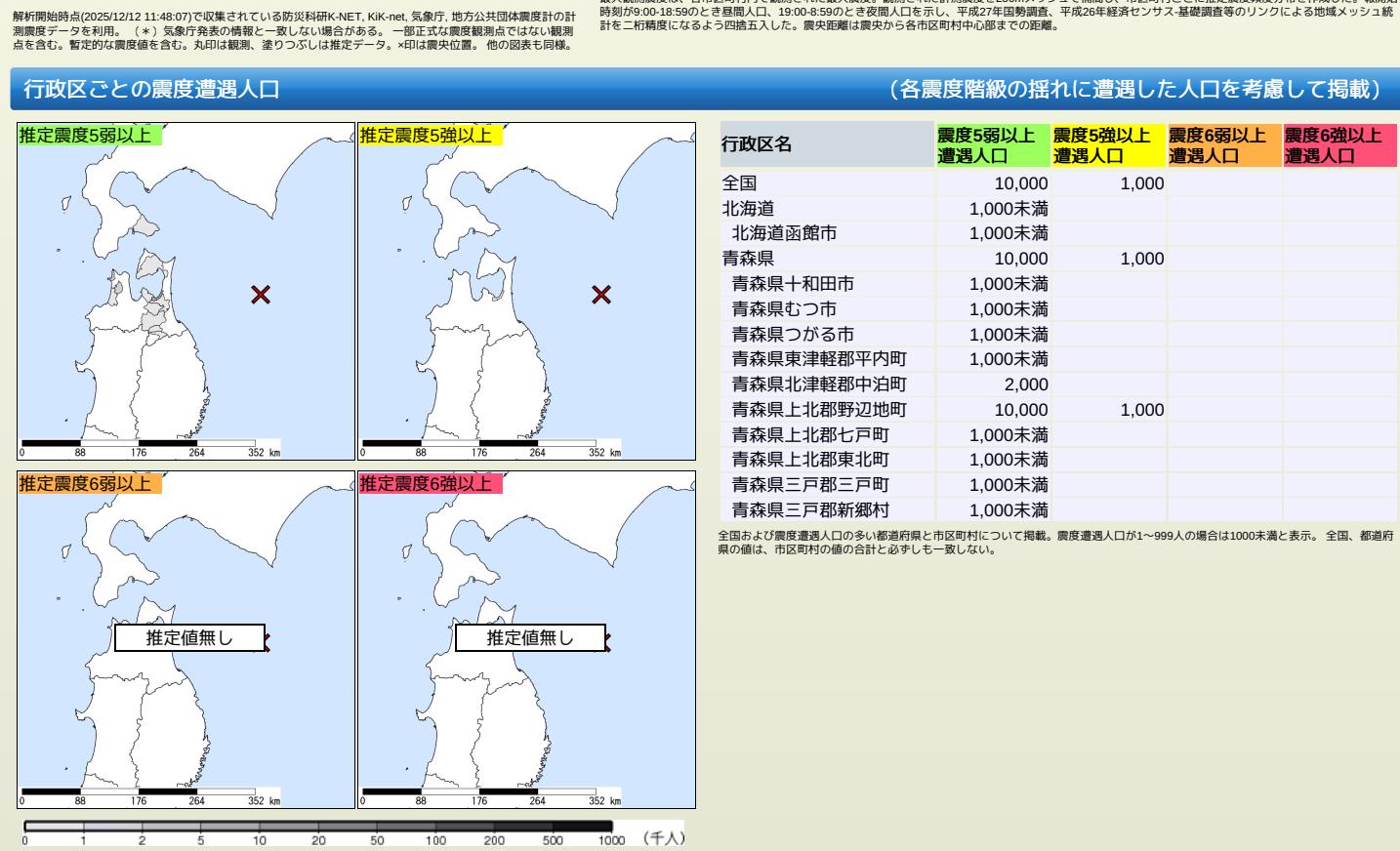
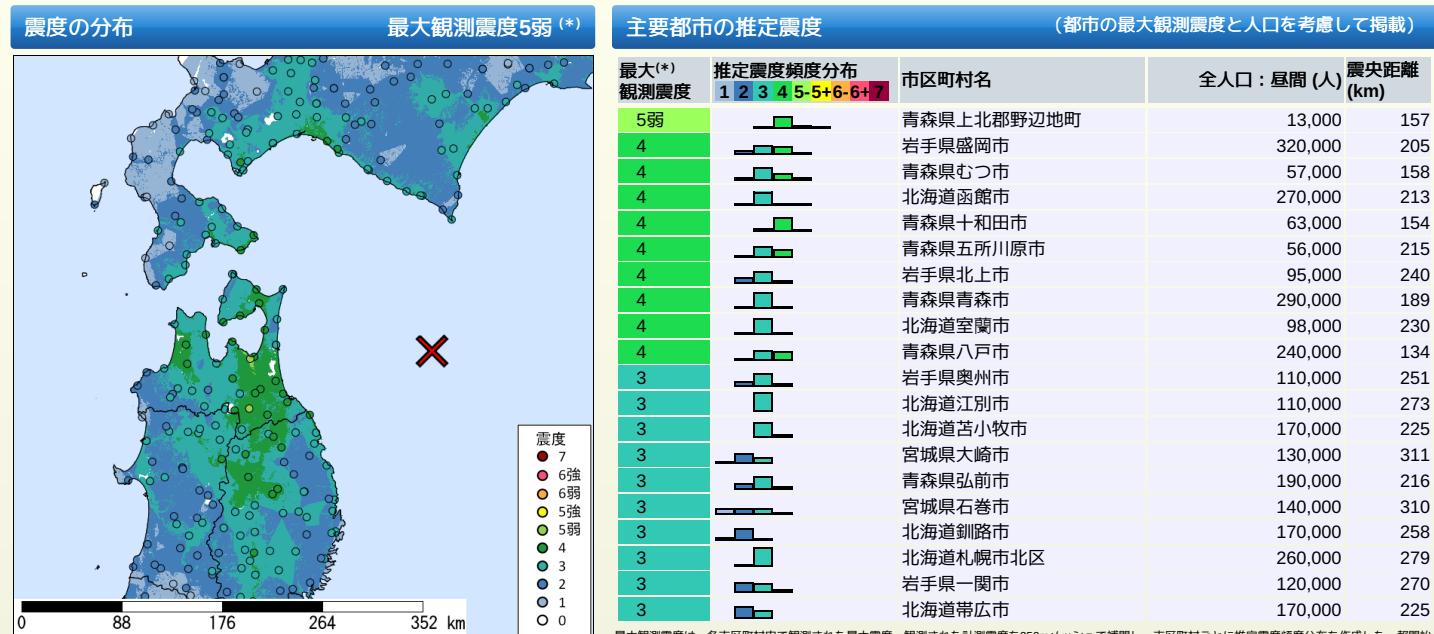


M 6.5, 震源地:青森県東方沖, 深さ約20km, 2025/12/12 11:44頃発生 (気象庁発表)



補間した250mメッシュの推定震度分布と、250mメッシュに細分化した平成27年国勢調査、平成26年経済センサス・基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を重ね合わせ、各行政区の震度遭遇人口を推計した。

この地域で起こった過去の主な被害地震

発生年	震度名	M	被害
1763	陸奥八戸	7.0	城の壊倒れ、御朱印藏の屋根破損。
1856	日高・胆振・渡島・津軽・南部(安政の八戸沖地震)	7.5	震害は少なかったが、津波が三陸及び北海道の南岸を襲った。南部瀬で流失93、瀬106、溺死26、八戸瀬で半死3など、余震が多かった。1968年十勝沖地震に津波の様子がよく似ており、もう少し海溝寄りの地震かもしれない。
1858	八戸・三戸	7.3	八戸・三戸で土蔵・堤水門・橋など被損、青森・弘前・陸奥・田名部・鰐ヶ沢・秋田で強く感じた。
1901	青森県東方沖	7.2	青森県で死傷18、木造漁家8、秋田・岩手でも被害があった。宮古で波高60cmの津波があった。
1945	青森県東方沖	7.1	青森県で家屋倒壊2、死2、八戸などで微小被害、津波全振幅35cm。
1952	釧路沖(十勝沖地震)	8.2	北海道南部・東北北部に被害があり、津波が関東地方に及ぶ。波高は北海道で3m前後、三陸沿岸で1~2m。死28、不明5、家屋全壊15、半壊1324、流失91。
1968	青森県東方沖(十勝沖地震)	7.9	青森を中心北海道南部・東北地方に被害、死52、傷330、建物全壊673、半壊3004。青森県下で道路損壊も多かった。津波があり、三陸沿岸3~5m、襟裳岬3m、浸水529、船舶流失沈没127、コンクリート造建築の被害が目立った。
1994	三陸沖(三陸はるか沖地震)	7.6	震度6の八戸を中心して被害、死3、傷788、住家全壊72、半壊429。道路や港湾の被害もあった。弱い津波があった。
2003	釧路沖(十勝沖地震)	8.0	太平洋プレート上面の逆断層型プレート境界地震で1952年とほぼ同じ場所。死1、不明1、傷849、住家全壊116、半壊368。最大震度6弱(道内9町村)、北海道および本州の太平洋岸に最大4m程度の津波。

出典: 国立天文台編「理科年表 平成29年」、丸善出版 (2016)。一部表現を割愛

J-SHISから公表している地震ハザード情報

